



ネットワーク通信の使い方

hpワークステーションxw4000
hpワークステーションxw6000

製品番号: 301546-291

2002年10月

このガイドでは、一部のモデルにプリインストールされているネットワーク
インタフェース コントローラ (NIC) 機能の概念および使用手順について説
明します。

© 2002 Hewlett-Packard Company
© 2002 日本ヒューレット・パッカード株式会社

Microsoft、MS-DOS、Windows、およびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Intel、Pentium、Intel Inside、およびCeleronは、米国Intel Corporationの登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、また本書の適用の結果生じた間接損害を含めいかなる損害についても、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、現状有姿のまま提供されるもので、商品性または特定目的への適合性に関する黙示の保証などを含むいかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品に対する保証は、当該製品に付属の限定的保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Hewlett-Packard Companyの書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

ネットワーク通信の使い方
hpワークステーションxw4000
hpワークステーションxw6000
初版 2002年10月
製品番号：301546-291

日本ヒューレット・パッカード株式会社

目次

ネットワーク通信の使い方

NIC警告メッセージ	1
Wake-On-LAN (WOL) 機能	2
ステータス ランプの動作	3
802.3uオートネゴシエーション機能の停止	4
ドライバのインストール	5

ネットワーク通信の使い方

このガイドでは、以下の項目について説明します。

- NIC警告メッセージ
- Wake-On-LAN（WOL）機能
- ネットワーク ステータス ランプの動作
- 802.3uオートネゴシエーション機能の停止
- ネットワーク ドライバのインストール

NIC警告メッセージ

一部のNICには警告メッセージの機能が備わっているため、システム管理者はネットワークに接続されたコンピュータをリモートで監視することができます。コンピュータがハードウェアとオペレーティング システムの障害を検出すると、オペレーティング システムをロードする前、オペレーティング システムをロードしているとき、コンピュータが低電力消費モードのとき、および電源を切るときに、警告メッセージをネットワーク経由で送信します。NICのモデルによって異なりますが、警告メッセージには次の種類があります。

- システムBIOSの停止
- オペレーティング システムの停止
- プロセッサが見つからない
- 動作温度が許容値を超えた
- シャーシの異常
- ウォッチドッグ
- ハートビート監視



NIC 警告メッセージは、Intel が提供する Alert on LAN エージェントをインストールすると有効になります。Alert on LAN エージェントは、<http://www.compaq.co.jp/> から入手できます。

Wake-On-LAN (WOL) 機能

Windows[®] 2000 または Windows XP では、Wake-On-LAN (WOL) 機能を有効/無効に設定することができます。

Wake-On-LAN 機能を有効/無効に設定するには、以下の手順に従います。

Windows 2000 の場合

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [システム]アイコンをダブルクリックします。
3. [システムのプロパティ]で[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]の順に選択します。
4. [ネットワーク アダプタ]の左の[+]をクリックします。
5. 使用しているネットワーク アダプタをダブルクリックします。
6. [ネットワーク アダプタのプロパティ]で[電源の管理]タブを選択します。
7. [このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができるようにする]または[電力節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする]の有効/無効を設定します。

Windows XP の場合

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]の順に選択します。
2. [システム]アイコンをダブルクリックします。
3. [システムのプロパティ]で[ハードウェア]タブ→[デバイス マネージャ]の順に選択します。
4. [ネットワーク アダプタ]の左の[+]をクリックします。
5. 使用しているネットワーク アダプタをダブルクリックします。
6. [ネットワーク アダプタのプロパティ]で[電源の管理]タブを選択します。

7. [このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]または[電力節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする]の有効/無効を設定します。



Wake-On-LAN機能について詳しくは、「デスクトップ マネジメントについて」オンライン ヘルプを参照してください。「コンパック リモート マネジメント 管理者ガイド」は、リモート マネジメント セットアップ ユーティリティに含まれています。「コンパック リモート マネジメント 管理者ガイド」は、サポート ソフトウェア CD に収録されているほか、<http://www.compaq.com/> または <http://www.compaq.co.jp/> からダウンロードすることもできます。



WOLのフィルタリングについて詳しくは、NICの上級ユーザ向けの診断/コンフィギュレーション ユーティリティについてのドキュメントを参照してください。

ステータス ランプの動作

イーサネット ネットワーク コントローラにはネットワーク ステータス ランプが3つあります。

- LNK (Link) ランプは、システムがネットワークに物理的に接続しているときに点灯します。
- ACT (Activity) ランプは、コンピュータが通信中のネットワークを検出したときに点滅します。システムが頻繁に通信しているネットワークに接続している場合は、点灯したままの状態になります。
- 100Base-TX ランプは、100Mbps回線が動作している場合に点灯します。

NICの種類によってはネットワーク ステータス ランプが2つしかないことがあります。この場合は、ネットワークが接続している状態とネットワークが通信中の状態を1つのランプで示します。ランプが点灯すると接続中であり、点滅すると通信中であることを示します。もう1つのランプは、100Mbps回線の場合に点灯します。



統合型NICには、NICコネクタに2つのネットワーク ステータス ランプがあります。

- LNK (Link) ランプ/ACT (Activity) ランプ (緑色) : ネットワークに物理的に接続しているときは緑色に点灯し、ネットワークが通信しているときは点滅します。
- 100Base-TX/10TX (オレンジ色) : 100Mbps回線が動作しているときはオレンジ色に点滅し、10Mbps回線が動作しているときは消灯します。

802.3uオートネゴシエーション機能の停止

NICのオートネゴシエーション機能は、接続されているネットワークの最高データ転送速度と二重通信機能を自動的に検出して、最も一般的な組み合わせでコンピュータの設定を調節する機能です。コンピュータは、ネットワーク回線が正しく接続されているときは常に、またはNICドライバがロードされると、オートネゴシエーションを開始します。

また、コンピュータは、オートネゴシエーションの際に、全二重通信であるか半二重通信であるかについても、自動的に検出します。全二重通信では、データの送受信を同時に行うことができますが、半二重通信では、データの送受信を同時には行えません。

必要に応じて、オートネゴシエーション機能を停止させ、特定の通信モードに設定することもできます。通信モードを設定するには、次の手順で操作します。

Windows 2000 ProfessionalまたはWindows NT® Workstationの場合

1. [コントロール パネル]の[Intel(R) PROSet II]アイコンを選択します。
2. [Advanced]タブをクリックします。
3. [Setting]一覧から[Link Speed & Duplex]を選択し、お使いのネットワーク環境に合わせて変更します。
4. [OK]ボタンをクリックして、[Intel(R) PROSet II]を終了します。
5. 設定を有効にするために、[はい]ボタンをクリックしてコンピュータを再起動します。

Windows XPの場合

1. システム トレイの[Intel(R) PROSet II]アイコンをダブルクリックします。または[スタート]→[コントロール パネル]→[クラシック表示に切り替える]→[Intel(R) PROSet II]アイコンの順に選択します。
2. [Advanced]タブをクリックします。
3. [Setting]一覧から[Link Speed & Duplex]を選択し、お使いのネットワーク環境に合わせて設定を変更します。
4. [OK]ボタンをクリックして、[Intel(R) PROSet II]を終了します。

設定を有効にするために、[はい]ボタンをクリックしてコンピュータを再起動します。

詳しくは、ネットワーク コントローラに付属のガイドを参照してください。



100Base-TX通信には、RJ-45コネクタのカテゴリ5 UTPケーブルが必要です。

ドライバのインストール

ネットワーク コントローラのデバイス ドライバを使用すると、実行中のオペレーティング システムにドライバが正常にロードされ、ネットワーク通信が利用できるようになります。



コンピュータには、モデルによりWindows XP用、Windows NT 4.0用、Windows 2000用のデバイス ドライバが付属しています。これ以外のオペレーティング システムを使用する場合は、オペレーティング システムに付属のメディアまたはHPから入手できるデバイス ドライバ ファイルから必要なドライバをインストールしてください。オペレーティング システムの再インストールが必要な場合は、Compaq Restore CDまたはRestore Plus! CDをお使いください。